

会議等名	令和4年第1回海老名市外部評価委員会
日時	令和4年1月7日(金) 13:30～15:30
場所	海老名市役所 7階 705会議室
出席者	外部評価委員：大島委員長、菅生委員、長谷川委員、山田委員、阿部委員、石川委員、井上委員、田中委員、西海委員（以上9名出席） 事務局：井上企画財政課長、尾内主幹兼政策経営係長、草野

## 1 開会

尾内主幹兼政策経営係長

## 2 あいさつ

- ・井上企画財政課長あいさつ
- ・大島委員長あいさつ

## 3 議題

### (1) 令和4年度外部評価について

#### 【事務局より資料に基づいて説明】

昨年11月に各委員よりいただいた令和3年度外部評価についてのご意見に対する回答と、令和4年度外部評価の方向性（事務局提案）を説明。

#### 【委員より意見】※内容ごとに分けて掲載

- 今の外部評価は、「何を評価するか」が分からなくなっている。市のHPへ掲載するために評価することと、予算編成の参考となるように評価することでは、それぞれ評価視点が変わるように、まずは「何のために評価するか」を明確にすることで、解決するのではないか。
- 外部評価をやるのであれば、政策評価をきちんと行い、行政に対し何らかの貢献を実感したいので、何を評価するかを理解し、外部評価委員として意見を言いたい。
- 企画財政課で、外部評価において「どういう目線」で、「何を評価するか」を示していただきたい。

(事務局回答) ご指摘いただいた事について、事務局で検討しながら、委員の皆様と審議し、確定させていきたい。

- 「何を評価するか」の検討次第では、政策評価はなくても良いのではないか。
- 予算レベルの事業に対して意見を述べるという評価でもよい。

(事務局回答) ご意見として参考にさせていただく。

- 外部評価後に、所管課からの回答がないと一歩通行になってしまう。
- 専門的な事は分からないので、実際に事業を見て、現場を勉強しながら主婦の目線で評価をさせていただいた。ぜひ所管課からの回答が欲しい。
- 外部評価を続けるために評価を行っているのではないかという不安・徒労感がある。そのため、評価に対するフィードバックをしっかり行って欲しい。
- 評価した事業で、今後も続くものであれば、評価を受けた所管課の回答が欲しい。再評価がしたいわけではなく、自分たちの評価がどのように事業に反映されたか知りたいので、次年度予算後に回答でもよい。

(事務局回答) 皆様が仰るとおりのため、前向きに検討していきたい。

- 評価事業の選定にあたり、政策に対する事業の一覧やその詳細を示すことは、市の戦略を開示することに繋がり、外部評価委員が行政経営に関わることになる。それは市政への批判等となる可能性があるのではないか。

(事務局回答) 外部評価委員の皆様には、踏み込んで行政経営に関わるというよりも、20プランの政策に対して、紐づいている事業の数は正しいか、めざす姿に合わせた事業が展開されているか等を市民視点で見たいと考えている。

- 調書の作成については、外部評価委員会の過去に詳しく、器用に調整できる方を選出すると良いのではないか。
- 調書に20プランのめざす姿と現状の課題を入れて欲しい。「めざす姿→課題→解決→次の課題」という流れを示すべきであり、かつ数年にわたっての事業は長期的な視点で解決していくべきではないか。

(事務局回答) 調書の作成方法や項目については、令和4年度の外部評価委員会にて委員の皆様と審議していきながら確定していきたい。

- 事業調書が予算概要調書を基に作成されているのであれば、予算概要調書を外部評価資料にすればいいのでは。

(事務局回答) 予算概要調書は、その年度の新規事業など政策的な要素の強い事業のみ作成されるため、全事業の調書があるわけではない。

#### 4 閉 会

尾内主幹兼政策経営係長

以上